



## デジタルキーで幼稚園を安全・快適に 生活の利便性高めるスマートシティ化の新たな一歩

市は株式会社ビットキー（東京都中央区）と連携し、幼稚園における園児送迎時等の保護者、園職員の利便性向上・負担軽減と安全性向上を目的にスマートロックを使用した社会実証実験をスタートする。

実証に参加する学校法人谷野学園 春日東野幼稚園（枚方市春日北町）の玄関ドアにビットキーのスマートロック「bitlock（ビットロック）GATE」を設置。送迎時等に保護者がスマートフォンアプリで解錠が可能となる。同社のスマートロックを使った子育て分野での社会実証の取組は全国初で、また保育所・幼稚園などの就学前児童施設におけるスマートロック利用は市内初。全国的にも珍しい取り組み。

市と株式会社ビットキーは昨年9月に連携協定を締結。社会実証の第1弾として、家の玄関におけるスマートロックの市民モニター利用を今年1月から実施しており、今回はその第2弾。

先端技術によってまちなかの様々な場面の利便性を高めるスマートシティ化を推進し、便利で安全に暮らしやすいまちづくりを進める。

★株式会社ビットキーは東京に本社を置く、デジタルコネクタプラットフォームの企画・開発などを行う会社。市とは令和3年9月に協定を締結。テクノロジーの力であらゆるものを安全で便利に気持ちよく「つなげる」ことを目標に掲げ、システム毎の分断やリアルとデジタルの分断をサービスでコネクタすることを目指している。

★実証に使用するデジタルキーは株式会社ビットキーの電子制御ドア向けのスマートロック「bitlock GATE」。人・時間・回数などの制限付きデジタルキーを管理者（本実証では園職員）が発行することで、登録された保護者等がスマートフォンアプリでオートロックのエントランスの鍵を簡単に開けることができる。

★春日東野幼稚園では玄関にオートロックを設置して園児の安全確保を行っているが、早朝及び夕方の預かり保育を実施していることから、保護者が送迎に園を訪れる時間に幅があり、園庭の外壁に設置された鍵を来訪ごとに園職員が解錠・施錠するため、保護者の待ち時間が生じることと、園職員の作業の負担が課題となっていた。

★スマートロックの利用により、保護者はスマートフォンアプリから自身で門の解錠が可能となる。物理鍵を使用しないことで紛失などのリスクがないほか、自宅の鍵にビットキーのスマートロックを使用している場合は、自宅と幼稚園の鍵を同じスマートフォンアプリで解錠・施錠することができる。

★機器は既に設置済で、保護者を交えた実証のスタートに先立ち、園職員による事前テストなどで調整中。実証期間は6月から約6か月間。園職員約20名と園児約300人の保護者のうち希望する人がサービスを利用する。

★園担当者は「今回の取り組みは、保護者にとって都度インターホンを鳴らしてクラスと名前を伝える作業が減る点、園職員の仕事を軽減できる点が同時に解消できてとても嬉しい」と話す。

★今後、市と株式会社ビットキーの連携で、スマートフォンアプリのほか、顔認証でも解錠できる仕組みや、公共施設におけるスマートロックの社会実証の検討など、枚方市のさらなるスマートシティ化推進の取組を進めていく。

< 「bitlock GATE」 使用イメージ >



▲保護者等が利用する通用口



▲玄関ドアをスマホアプリで解錠。



▲製品使用イメージ。園内のオートロック制御装置に取り付け、アプリからの解錠信号を受信。

<お問い合わせ> 政策推進課 ☎072-841-1149、ファクス 072-841-3039